



PJLink紹介

JBMIAデータプロジェクター部会
PJLink分科会

PJLinkとは

PJLinkの目的・経緯

PJLinkは、今後、企業/学校/公共施設/店舗/娯楽施設等、あらゆる場所に普及してゆく映像機器を、簡単に監視・制御できる仕組みを提供します。

基本的なネットワーク経由でプロジェクター監視・制御に関わる基本的な仕様を定義したPJLink Class1を策定し、2005年4月に公開しました。

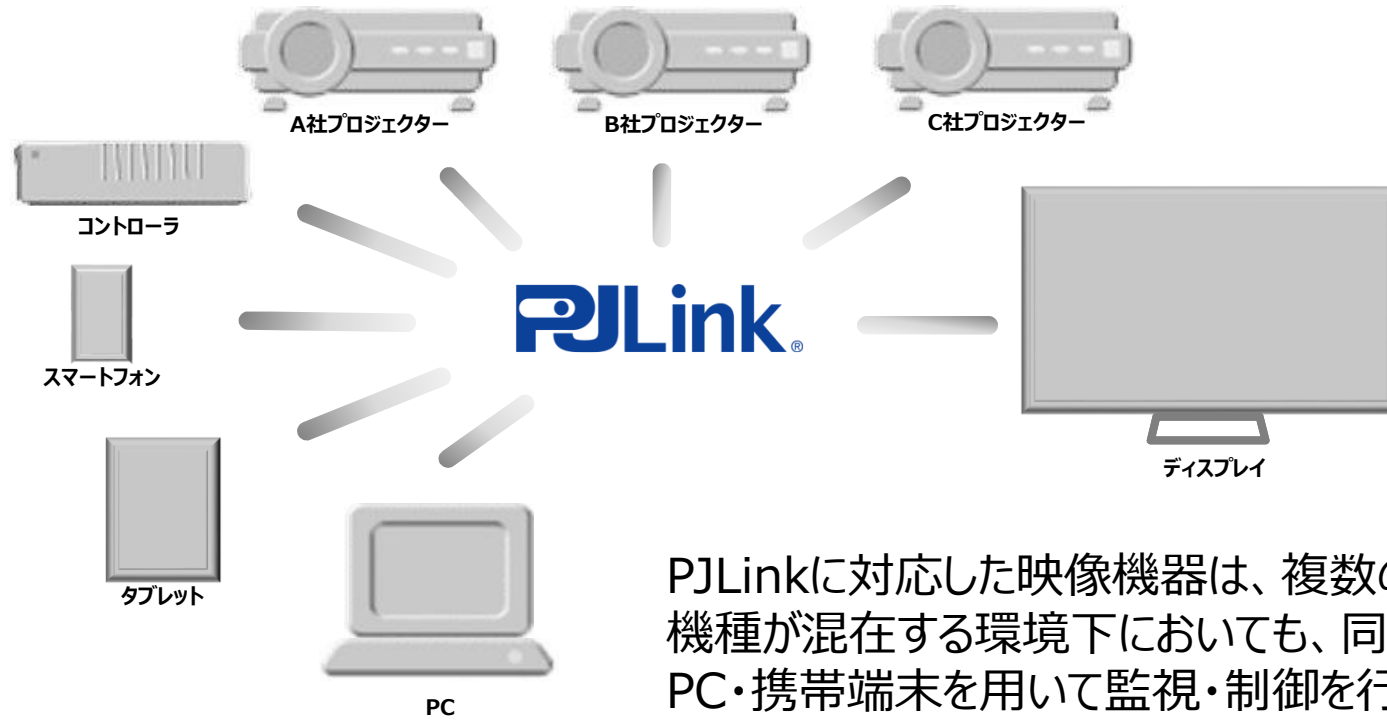
そして、Class1仕様を拡張したPJLink Class2を策定し、2016年7月に公開しました。

PJLinkが提供するもの

PJLinkに対応した製品は、異なるメーカー、異なる機種が混在する環境であっても、同一のコントローラやソフトウェアを用いて制御・監視を行う事ができるため、ユーザにとっての利便性を大きく高める事ができます。

また、システムとして導入する場合の、期間と費用の低減に繋げる事ができます。

PJLinkの概念



PJLinkに対応した映像機器は、複数のメーカー、異なる機種が混在する環境下においても、同一のコントローラ・PC・携帯端末を用いて監視・制御を行う事ができます。

PJLinkにより定義されるカテゴリー

PJLinkでは、3つのカテゴリーにおける規格を定義しています。

■ Connection

プロジェクター／ディスプレイを接続する手順及び、プロジェクター／ディスプレイから認証を受ける手順

■ Control

プロジェクター／ディスプレイを制御する手順及び、プロジェクター／ディスプレイの状態を参照する手順

■ Command format

プロジェクター／ディスプレイと通信するためのコマンドフォーマット

Classについて

PJLinkでは、2つのClassが定義されています。

■ Class1

プロジェクターの基本機能におけるネットワーク経由での制御・監視仕様を定義

■ Class2

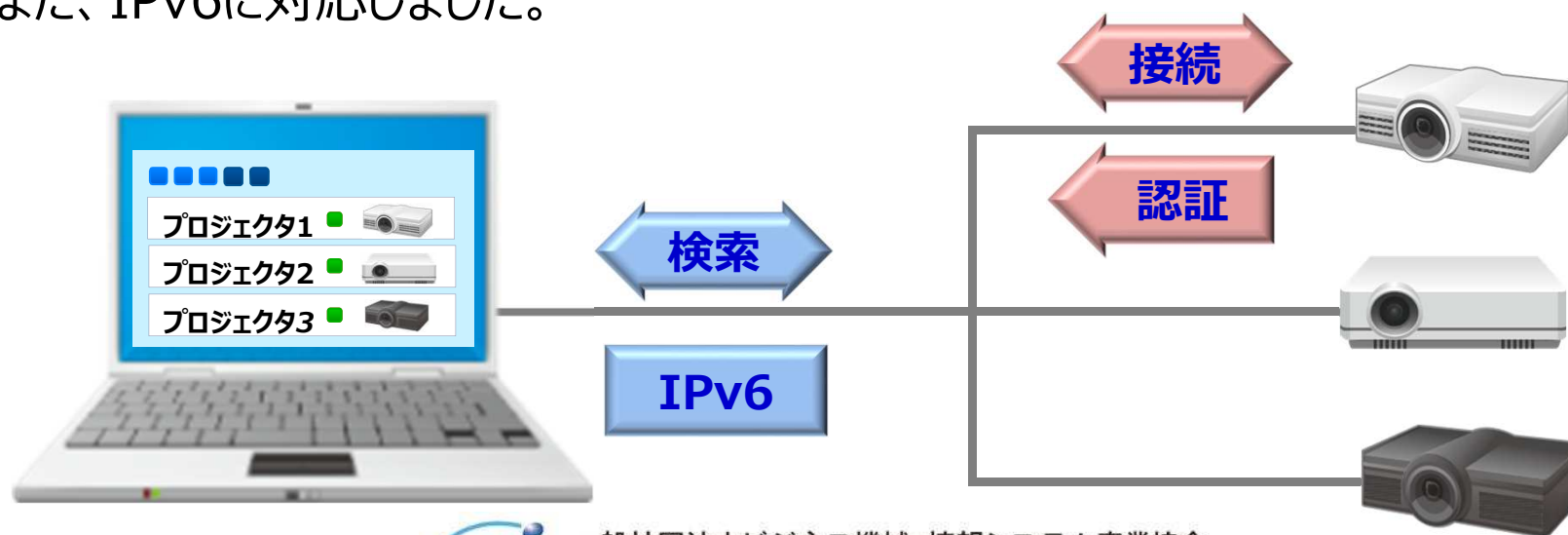
PJLink Class1に対し、以下の機能を拡張

- デバイス検索機能追加
- 自発的状态通知機能追加
- IPv6対応
- 制御コマンド追加

Connection

Connectionのカテゴリーでは、プロジェクター／ディスプレイと、制御機器との通信を開始するための接続手順、認証を行う手順を定義しています。

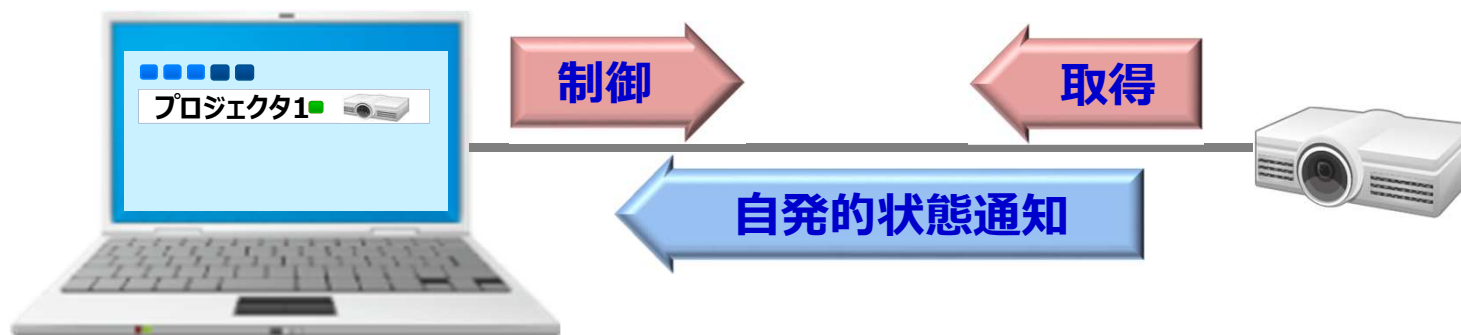
Class2では、プロジェクター／ディスプレイを検索する仕様が追加され、また、IPv6に対応しました。



Control

Controlのカテゴリーでは、制御機器よりプロジェクター／ディスプレイを制御するために必要な手順、制御機器がプロジェクター／ディスプレイの状態を取得するために必要な手順を定義しています。

Class2では、プロジェクター／ディスプレイの状態が変更された場合に、自発的に状態通知を行う仕様が追加されました。



Command Format

Command Formatのカテゴリーでは、プロジェクター／ディスプレイを設定したり、状態を取得するためのコマンド形式を定義しています。

C a t e g o r y	設定系	取得系		
	C l a s s	マイク音量	フリーズ状態	ソフトウェアバージョン
フリーズ制御		シリアルNo.	ランプ、フィルター交換型番	
スピーカー音量		入力端子名称	入力解像度、推奨解像度	
C l a s s	設定系	取得系		
	電源制御	電源制御	ランプ数・使用時間	エラー状態
	入力切替	入力状態	機器名称取得	
	AVミュート制御	AVミュート状態	メーカー名取得	

今後の展開



PJLink分科会では、広くPJLinkを普及させる活動を展開するとともに、制御/監視に留まらず、更に映像機器の使いやすい環境を提供するため、お客様の声をしっかりと聴き、PJLinkの改善をして参ります。

PJLink®